

分野：2

外来生物とは

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 一般市民（20人）

所要時間  1時間45分

場所 さいたま市南区太田窪新田自治会館

実施時期 令和3年7月4日

概要

自然のものと自然でないもの
食物連鎖
生態系ピラミッドのバランス
外来植物の生態系への影響

プログラムの ねらい

- ・身の回りの生物を自然なもの（従来日本の土地で生活していたもの）と自然でないもの（園芸種や品種改良されたもの）に分けることができる。
- ・植物を出発点として、食物連鎖のピラミッドを組み立てることができる。
- ・外来植物によって、その関係がくずれていくことが予測できる。

プログラムの内容

1 自然とは（15分）

自然の風景はどれか質問する。

里山、ゴルフ場、芝桜公園、芝川遊水池などの写真から自然の風景を答えさせる。

2 自然のものと自然でないもの（30分）

- ① 参加者（参加家族）それぞれに数種類の生物のカードを配った。
- ② 参加者はそのカードを、ホワイトボードに自然のものと自然でないものに分けて貼りつけた。
- ③ 講師はそれぞれの生物が自然のものであるかどうか、参加者に確かめさせた。
- ④ もともとそこにあった生物を復活させているのも、自然の風景と言える。

3 生態系のバランス（30分）

- ① 参加者は生物のカード（2のカードとは別）をハサミで切り取る。
- ② 植物を出発点として、食物連鎖のピラミッドをつくる。（家族の話し合い）
- ③ 植物が減少した場合の全体のバランスを考える。（動物もへる。）

4 外来植物の影響。（30分）

- ① 外来植物が侵入した場合の植物への影響を知らせる。
- ② 外来植物抜きの実際についての説明をする。

受講者の反応

- ・自然なものとそうでないものや食物連鎖のピラミッドづくりでは、親子や兄弟で話し合う声がよく聞こえ、講師の質問に対しても、積極的な発言が多く見られた。
- ・小学校低学年の児童が、長い講演にもかかわらず、課題に楽しそうに取り組んでいた。

環境学習の様子（写真）



自然の風景はどれかな？



これは自然のものかな？（子どもたち）



これは園芸種ですね



食物連鎖のピラミッドができたかな？